

## 論点等説明シート

|                         |                           |          |       |      |      |        |   |
|-------------------------|---------------------------|----------|-------|------|------|--------|---|
| 事業名<br>【執行府省】           | 被災者営農継続支援耕作放棄地活用事業【農林水産省】 |          |       |      |      |        |   |
| 事業開始年度                  | 平成24年度                    |          |       |      |      |        |   |
| 終了(予定)年度                | 平成30年度                    |          |       |      |      |        |   |
| 予算額・<br>執行額<br>(単位:百万円) |                           | 24年度     | 25年度  | 26年度 | 27年度 | 28年度要求 |   |
|                         | 予算の<br>状況                 | 当初予算     | 401   | 623  | 225  | 149    |   |
|                         |                           | 補正予算     | -     | -    | -    | -      |   |
|                         |                           | 前年度繰越(+) | 1,704 | 131  | -    | -      | - |
|                         |                           | 翌年度繰越(-) | ▲131  | -    | -    | -      |   |
|                         |                           | 予備費等     | -     | -    | -    | -      |   |
|                         | 計                         | 1,974    | 754   | 225  | 149  | -      |   |
|                         | 執行額                       | 363      | 234   | 28   |      |        |   |
| 執行率(%)                  | 18%                       | 31%      | 12%   |      |      |        |   |

## 事業についての論点等

## 事業の概要

被災農家等が自ら営農活動を行う場合のほか、受入れ地域の「耕作放棄地対策協議会」が運営する実証ほ場で雇用形態により営農活動を行う場合に、以下の取組に対して支援する。

- ①耕作放棄地を再生利用する活動への支援
- ②施設等の整備への支援
- ③附帯事業への支援

(補助率:定額(再生作業5万円/10a等)、1/2以内等)

## 論点等

## ○具体的な選定理由

- ・耕作放棄地活用という点では、一般会計において従前から実施している耕作放棄地再生利用緊急対策事業と同一の事業であり、復興事業として実施する意義の検証が必要。
- ・毎年多額の不用額が生じていることから、事業の必要性を検証するとともに、事業の在り方を見直すことが必要。
- ・事業の終期を、一般会計における既存事業の見直し年度にあわせて30年度までとしているが、これまでの成果を踏まえ終期の検討が必要。

## ○論点

- ・一般会計における既存事業(耕作放棄地再生利用緊急対策事業)との相違点を明らかにした上で、被災地固有の対応が何であるか検証が必要ではないか。
- ・復興事業としてのこれまでの成果を検証した上で、事業の在り方を見直すとともに復興事業としての終期の検討が必要ではないか。